

第33号

発行 丸橋 齒科「良い歯の会」
 発行所 群馬県高崎市栄町21-1
 TEL 027-323-9524
 FAX 027-322-3139
 http://www.maruhashi.com/
 E-mail:maruhashi.s@cb.wakwak.com

医・農・智

厳さへ 貴き通ず
 澄んだ まなこし
 見えない物を 映し出す
 時流に靡く 人々の群れ
 時がそれを 示したように
 やがて 虚偽は滅び
 眞実は 生き残る
 世俗を離れ 心の叫びに 従う時
 澄んだ眼が 輝きはじめ
 いのちの 営みが
 見えてくる
 (仁志)

「良い歯の会」機関紙

いのち

見える目を磨く 人を見る 社会を見る

「良い歯の会」主宰 丸橋 賢

いつか来た道 しかも最も質の悪い道

私は毎日患者さんを見て、同じ目で周囲の人々を観察しています。年とともに、私は私の目に自信を強めています。初診時に体や顔の形態、顔や爪の質を一瞬見れば、その患者さんの体のどこに、どのような苦痛や不調があるか、精神的調子はどのような状態か、ほぼ的確に診断することが出来ます。

「初診の時、ちょっと見ただけで私の体のどこにどのような症状があるのかポーン言われ、それがみんな当たっているのが驚いた」と言った患者さんがいましたが、私はそのような診断をはずしません。はずれば私はヤブ医者なのです。

目は観察によって磨けば、どんどんよく見える目になってゆきます。その私の目で現在の日本を見ると、社会は重症で、処方はずれたはずれで病状は悪化の一途を辿ること確定です。病んだ社会(患者)を診る政治家(医師)に病根を正しく見る目、本質を見る目がなく、重態化する患者にやたらと興奮剤を過剰投与しているのが、私の目に映る現代の光景です。異次元緩和と称して、返済不可能な負債を積み上げ、紙幣を市場に、無制限にバラ撒いていますが、今でも再建困難な国家財政を、近いうちに崩壊させる結果になるでしょう。それまでの短い間、華やかげに踊るのは、株式市場等の投機の舞台だけで、実態経済の困難は次第に明らかになるはずですが、その先に待っているのは、いつか来た道よりずっと大きな崩壊でしょう。

日本衰退の病根は 日本人のエネルギー低下

日本人の学力、意欲、そして経済も衰退を続けていますが、その病根は日本人の生物学的退化にあると、私は見えてきました。日本の製品の競争力低下は、みんなが考えているよりずっと深刻です。数年前までは外国で見かけるテレビのほとんどが日本製でした。それが一斉に姿を消してしまいました。ずっと安く、品質も日本に近づいてきた韓国製品が席巻してしまったのです。半導体もスマートフォンも同様です。

過保護にされて働く情熱を失い、コストだけが低い日本人が作ったモノが、競争に負けたのです。

インターネットなどのITも使えば使うだけ、特許使用料をアメリカをはじめとする海外にとられ、ガン治療薬も良いものの特許は全て海外にあります。優れた新しいものを開発する挑戦力も、今の日本人には無いようです。そのような、意欲は低く、コストは高く、甘やかされて権利主張ばかりし、責任の自覚のない日本人を経営者が使いたくないはずはありません。多くの企業が海外へ移り、日本の空洞化が進み、日本の衰退が進行するのにもまた当然なのです。高コストでエネルギーは低く、過保護にされた日本人は負ける、それが病根であると、長い間私は見てきました。その真の病因に対して、異次元金融緩和と円安誘導によって虚構の夢を見せようとするのが、現在の政治のやり方です。病根を解消するような効果は全くありません。引張り過ぎたゴムは切れ、膨らみ過ぎたバブルは破裂し、実態に戻す強制力が働きます。政治家も、国民に見せている夢が長続きすることは無いことを知っているのかも知れません。それを知らないとしたら本物の愚物、俗物です。承知の上で、暫くの間、権力の座にいればよいと考えているのではないかと、私は推測しています。

実像を見つめる目

日本を衰退から回復へ向かわせる私の処方方は明確です。まず、虚構に踊らされず、実像を見る揺るぎない目を育てることです。本当のことを見抜き、本当のことに向かおうとする視点を確立することです。人間の目や思考は、相当に注意しないと虚構の中に住みやすい弱点を宿していることを自覚する必要があります。私たちは常識・マスコミ・権威・習慣・先入観・利害関係などによって、目や頭脳を曇らせ、尤もらしい見解をつくり出しやすい傾向をもっています。それらの目や頭脳の曇りをきれいに拭き取り、実態をありのままに見る目を鍛えなければなりません。そのための基本として最も重要なのは教育を改めることでしょうか。実態を曇りなく見つめる認識を大切に、個人の判断の自由と権利を重視し、そ

れと同等に責任を問う文化を育てなければ個人の力は育たないでしょう。責任を問わないことが優しさだと錯誤している現代の日本の風潮から卒業することが必要です。

私の目が見てきたもの

先入観を払拭した澄んだ目で見つめると、次々に新しい視界が開けるものです。人間の視界は常に時代の限界に制約されているのだということに気がかされます。今見えている視界の先に、必ず新しいステージが展開すると考えているべきで、決して現在の私たちの見方が絶対だと信じない方がよいと思っています。

歯科の世界の固定観念から自由な私の目が見てきた新しい、歯科の事実が、振り返ってみると沢山あります。それがかかり重要なものばかりです。三十年以上も前、歯周病は食生活の混乱が原因で起きやすくなり、食生活を改善しなければ治らないと見たのが、その最初でした。外食や加工食品の多い現代食によって起きる写真①のような歯周病を、当時は難治性歯周病と呼んでいました。権威ある学説に従って治療しても治すことができなかったのです。

「食事を改善しないままブラッシングや手術をしても治らない」と私には



写真① 28歳男性の初診時。私が食事由来形と分類したタイプ。歯肉も口唇も暗赤色で、従来の治療法では効果がなかった。



写真② 食生活を改善した上で治療を行うと本当に良く治った。歯肉や口唇、顔色まで美しいピンクに輝いた。

見えました。食事を改善した上で治療をすると、写真②のようにきれいに治ることも突きました。その後一九九五年に、厚労省でも歯周病を食生活等に原因がある生活習慣病であると分類するようになりました。

もっと大きな問題点にも気付きました。主に軟食化に原因のある、日本人の歯列弓形態の歪みの特徴です。昔、硬い物を食べていた時、歯列弓は幅の広いU字形をしていました。それが軟食化に伴い、P形(放物線形・パラボラ形)↓V形↓G形(ギター形・瓢箪形)と変形してきているのです。その歪みのために従って、背丈は伸びて猫背化し、顔は細くなって曲がり、頭痛、肩こり、無気力など、重い症状が出現し、日常生活も普通にできなくなる人も沢山認められます。UPV G滅びの法則と私は名付けました。このような退化により、日本人は能力を発揮できなくなり、民族エネルギーも乏しくなっているのです。他にも多くの事実が気付いてきました。きつと、いつか、私が指摘し続ける、日本人が抱える重大な病根が注目される日が来ると確信しています。病根を根治する対策が待たれます。

いのちを見つめて 歯から治す



全人歯科医学による人間復興への確信

丸橋全人歯科 院長 丸橋 賢著
 なぜ咬み合わせを正すと全身のコリや痛みが去り、不妊が治るのか?
 歯から見つめたいいのちの不思議、現代人の「退化」とは何か。
 農文協 1890円

正しい「歯の矯正」の本



歯列を直して顔と体の歪みを正し、体調不良を防ぐ全人歯科矯正
 総合診療部長
 海老澤 博 著
 農文協 1470円

みんなのための家庭の歯学



0歳から100歳まで丈夫で良い歯のために
 カラで見やすく解説
 丸橋連雀町歯科 院長
 青木 博之 著
 西村書店 1575円

咬み合わせ不良の予防と治療



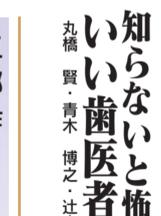
セルフチェックと食事からはじめる改善を提案
 咬合治療担当医
 日本全身咬合学会専門医
 亀井 琢正 著
 農文協 1365円

噛める幸せインプラントの実際



ブリッジや総入れ歯、歯周病や咬み合わせ不良など、あらゆるケースに対応できる施術法を事例豊富に紹介
 口腔外科部長
 日本口腔インプラント学会専門医
 辻本 仁志 著
 農文協 1400円

知らない怖い! いい歯医者、悪い歯医者の見分け方



丸橋 賢・青木 博之・辻本 仁志・亀井 琢正・海老澤 博 共著
 PHP文庫 619円(税別)

全人歯科革命 全人的治療への道 癒しの思想



口腔の治療から全身の治療へ
 歯科医も知らない全人歯科の威力! 1575円
 医師と患者が共有すべきほんとうの治療のすがた 1890円
 病むいのちを癒すこと、それは病む社会、病む自然をそっくり癒すことである 1995円

体調不良は歯で治る!



丸橋 賢著
 角川学芸出版 740円

生きる力 (いのちの柱) を取り戻せ



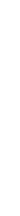
丸橋 賢著
 紀伊國屋書店 1680円

歯 悪い治療の見分け方



丸橋 賢著
 農文協 1530円

顎偏位症の治療と予防



丸橋 賢著
 農文協 1300円

よくわかる



丸橋 賢著
 農文協 1300円

本 よいはちゃん歯なし国へ



丸橋 裕子
 P.H.P. 1155円

忘れかけていたものとは

滋賀県 山口 由美子
(自営業・42歳)

二〇一一年三月十一日、私たち夫婦は、歯の治療の日でした。地震が発生した時は、水戸の自宅から、高崎に向っている電車の中でした。緊急停止し、三時間閉じこめられて、JRのレスキュー隊に助けられました。線路上を歩いて、高崎駅の二つ手前の井野駅に到着。土地勘のない場所に放り出されてしまっておろろしてしまいました。まさか、これが避難生活の始まりになるとは、当時思ってもみませんでした。ホテルは、どこも満室。20件目でようやくとれて、休むことが出来ました。

紙袋とまきさに、帰宅難民で、避難者の対応をしている京都市役所に相談に行きました。すると、市役所からユースホテルに予約を入れて下さり、特別に宿泊料金を半額にしてもらいました。

三月十二日は、父の納骨の日でした。電車のダイヤは混乱状態でしたが、大宮駅で断念しました。結局その日もまたホテルに泊まりました。水戸駅は、地震の被害が大きく閉鎖、電車が動かず、水戸には、当時帰ることが出来ないことがわかってきました。その時、直感が働いたのです。「水戸には帰るな。西へ進め。」

その後、滋賀県の友人の家に三日間、お世話になりました。テレビのテロップに、滋賀県の災害対策本部の電話番号があり、すぐに電話をすると、日野町の避難施設に明日(二十一日)行くように言われました。日野町の職員さんが駅に迎えに来てくださり、避難施設のある志賀農業公園につきまわりました。広大な牧草地と花畑のある緑豊かな田舎でした。日野町は、人口二万三千人で、近江商人と花の街です。避難者は、福島県栃木県と様々です。二十人以上が集まって生活してました。仕事が見つからなかつたり、環境が合わず、現在、三分の一のしか残っていません。住宅も紹介してもらったのですが、一時避難場所なので、次に住む場所を探し続ける不安定な毎日です。しかし、滋賀県のみならず、感謝の気持ちでいっぱいです。私たちは、滋賀農業公園の草取りのボランティア活動を昨年末までしてました。今年からは、今まで書きとめた日記を基に、避難生活の現状や今後の生活を発信することをライフワークにしていきたいと思っています。

三月十三日、滋賀県の友人に連絡すると、「電話をかけたが、つながらなかったの心配した。いつでもここにおいでよ。」と言ってくれました。昼ごろ、千葉の実家にやっと到着しました。母と兄が待っていてくれました。原発の状況は、悪化する一方だったので、三月十五日の京都行きの夜行バスで、東京駅を出発しました。これでやっと原発から離れられると思った直後、急にバスが停止しました。静岡で震度五の地震が発生、高速道路が通行止めで待機状態になったのです。背後は原発、前は地震でどこにも行けない、また閉じ込められてしまったのです。幸い二時間ほど道路は、開通しました。またいつ地震が起るかわからない不安は、京都に着くまで続きませんでした。京都に到着し、ホッとしました。東の間、いつか京都で何をしたらいいのかかわからず、茫然と立ちすくんでしまいました。私たちの格好は、喪服に黒のバッグ、ポロポロの

二度あることは二度ある。」この言葉が私の頭の中をよぎるのです。非難することは、命がけであり、原発政策に対する不信感を最大限、行動で示したものです。

避難生活でわかつたことは、人は本来、奉仕の「塊」なんだと言うことです。忘れかけたものを、思い出せることが、幸せであり、豊かさなのかもしれない。

今回の震災で、水戸から二十五キロにある東海原路も六メートルの津波があり、あと四十七センチで、福島と同じような状態に陥っていたかもしれないことをご存知でしょうか。二度あることは二度ある。」この言葉が私の頭の中をよぎるのです。非難することは、命がけであり、原発政策に対する不信感を最大限、行動で示したものです。

避難生活でわかつたことは、人は本来、奉仕の「塊」なんだと言うことです。忘れかけたものを、思い出せることが、幸せであり、豊かさなのかもしれない。

二度あることは二度ある。」この言葉が私の頭の中をよぎるのです。非難することは、命がけであり、原発政策に対する不信感を最大限、行動で示したものです。

避難生活でわかつたことは、人は本来、奉仕の「塊」なんだと言うことです。忘れかけたものを、思い出せることが、幸せであり、豊かさなのかもしれない。

二度あることは二度ある。」この言葉が私の頭の中をよぎるのです。非難することは、命がけであり、原発政策に対する不信感を最大限、行動で示したものです。

毎年大好評

歯の疑問が解決!

健康教室「良い歯の会」 歯科治療相談と歯の講演の会

2013年10月6日(日) AM9:30~PM4:30

日本青年館(中ホール) 国立競技場そば

JR 信濃町または千駄ヶ谷駅より 徒歩9分

地下鉄 外苑前駅より 徒歩7分

参加無料(直接ご来場下さい)

治療相談では丸橋歯科の歯科医が歯の疑問にお答えします。講演は丸橋院長をはじめインプラント、矯正、咬み合わせの専門医が分かりやすく解説します。詳細は、随時HPにてご確認下さい。



これでいいの、家庭崩壊・国滅ぶ
教育・食育アドバイザー 大塚 貢

「悪い食事習慣の結果は?」 現状から推測される日本の将来

厚生労働省の研究班が、全国の高校生を抽出して、血液や内臓脂肪・コレステロール血症等の調査をした。男子44%女子42%が、生活習慣病予備軍である。信州大学医学部で、長野県の中学生の体と血液検査をした。やはり37%が、生活習慣病予備軍であった。これでは一番働き盛りの大人の大半が、やがて癌・心臓疾患・脳疾患等の成人病になる確率が非常に高くなる。

また厚生労働省の調査で、認知症は462万人、軽度認知症は400万人に上る。油類や肉類に片寄った食事、合成保存料や化学調味料等を含んだ食材を、多食している結果である。このままでは、10年、20年、30年後の日本は、どうなってしまうのか。まず、働き盛りの、家庭を持つている若い親が成人病になれば、年老いた親が、子や孫の面倒を見なければならぬ。なにより、親が働けなければ、経済的にも家庭崩壊する。

その結果がすでに現れ始めているのか、国民医療費は、平成23年度末37兆8千億円。介護保険給付費は、8兆3千億円、毎年1兆円近く増

額している。さらに、病気になるれば、年金も納められなくなる。平成23年の1号と2号者の、納率は54%で、とても、年金が維持出来る状況ではない。その上、国の借金は、平成24年度末で991兆円、国民一人当たり73万円である。消費税を10%に上げてみても、財政維持が出来ない状況である。

なんとしても、成人病予備軍を減らし、病気になるな、でも良い人を、病気にさせない対策が、早急に必要だと思ふ。国も地方自治体も、早期発見早期治療に取り組んでいるところはあるが、病気にさせない根本的な対策への取り組みが、ほとんどできていないのが残念である。病気になれば、何よりも困るのは、自分であり家族であるのに、市民の意識の低さが問題だ。

「生活習慣病予備軍を、減らすことは出来ないか」

平成9年に真田町の教育長に就任した。当時、肥満児・生活習慣病予備軍が多かった。その上、他市町村の学校もそうであったが、荒れていた。それは授業にも大きな原因があり、解る。出来る楽しい授業に、先生方の努力で改善してもらった。しか

良い歯の会にご参加ください

- 日時 毎月第2土曜日 午後1時30分~5時
- 場所 丸橋全人歯科3階研修室
- 内容 4回連続参加で1シリーズ

	内 容	開 催 月		
①	環境と人間の生き方を考える	1月	5月	9月
②	ムシバ予防を中心に家族を考える	2月	6月	10月
③	歯周病と生活習慣病を克服しよう	3月	7月	11月
④	退化病と闘う	4月	8月	12月

■定員 60人(入場無料)お電話でご予約ください。☎027-323-9524
ご家族、お友達などお誘い合わせのうえ、ご参加ください。どなたでも参加できます。試食会も行っています(本物食品と市販食品の食べ比べやおすすすめメニュー紹介など)。
「良い歯の会」HP <http://yoihanokai.jp/>
ブログ <http://ameblo.jp/yoihanokai/>

参加無料の出張講演を開催しました

昨年度は中之条町、軽井沢町で出張講演会を開催しました。日曜日にも関わらず、歯に悩みを持つ方が出席されました。中には、日頃の治療に疑問を持ちながら苦しんでいた方もおり、講演とその後時間に設けた相談会により疑問が解け、みなさんすっきりした様子で帰って行かれました。治療による咬み合わせで、姿勢や体調が変わってしまうという事実がまだほとんど認識されておらず、講演の必要性を感じました。



脳の機能が人間本来の働きになり、自己抑制が出来るので、万引も含めて非行犯罪を起す子供は、ここ10年Oが続いている。(警察署調べ)。不登校はここ10年、小学校はO、中学校はOの年が多いが、いる年でも2~3人である。

編集後記

今回は「給食で死ぬ」の著者、大塚貢先生にご寄稿いただきました。食事の内容で、人間の精神まで変化が生じるという事実を、多くの調査と実践で確信された経緯に感銘を受けました。先生の取り組んだ給食の内容は、当院で長年取り組んできた食の指導内容と重なる部分が多く、食の変化が、人間の生物学的な活力や免疫力に変化を与えるだけでなく、道徳心や人としての前向きな生き方にも影響があることを改めて認識させられました。亀井先生が咬合と脳の構造変化について掲載しましたが、当院での食、咬合という全人的な取り組みにより、人の生き方が変化するという内容は非常に興味深く、今後も観察と研究を重ねる必要性を感じました。(辻本仁志)



大塚先生の活動、調査の内容が記された著書。